

新型コロナウイルス感染症対策に係る
熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、レベル1とします。

【概要】

1 県内の感染状況

期 間	最大確保病床使用率 (使用数)	新規感染者数
12月30日(木)～1月5日(水)	0.1% (1名)	6名

2 熊本県リスクレベルについて

前回（12月31日発表）	今回（1月7日発表）
レベル0 なお、感染状況は先週と 大きな変化は見られない。	レベル1 なお、感染状況は拡大の 兆しが見られる。

3 県民の皆様へのお願い

全国的に急速な感染拡大が見られており、本県においても拡大の兆しがあることから、県民の皆様におかれては、基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いします。特に、県をまたぐ移動の機会がある場合、移動先の感染状況を確認し、緊急事態措置区域及びまん延防止等重点措置区域（沖縄県、広島県、山口県が適用見込み。）への不要不急の移動については、極力控えていただきたくようお願いします。

また、わずかでも発熱等の症状がある方は、外出せず、すぐにかかりつけ医などに電話相談し、受診して下さい。感染に不安を感じる無症状の方は、県の登録を受けた検査機関等において無料検査が受けられる（熊本県民に限る）ため、活用するようお願いします（令和3年12月28日に要請）。

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和4年（2022年）1月7日】

1 熊本県における現状認識

全国的に急速に感染が拡大し、オミクロン株によるクラスターも複数確認されている。沖縄県、広島県、山口県は国へまん延防止等重点措置の適用を要請し、適用を受ける見込みである。

本県の令和4年1月5日時点の入院者数は1人（最大確保病床に対する使用率：0.1%）、令和3年12月30日から令和4年1月5日までの1週間の新規感染者数は6人であり、その後も多数の感染者が確認されているほか、オミクロン株の感染者も確認された。こうした状況から、本県のリスクレベルはレベル1に引き上げる。

全国的な感染拡大の波は、これまでも本県に到達しているため、県民の皆様におかれては、基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いする。特に、県をまたぐ移動の機会がある場合、移動先の感染状況を確認し、緊急事態措置区域及びまん延防止等重点措置区域（沖縄県、広島県、山口県が適用見込み。）への不要不急の移動については、極力控えていただきたい。

また、わずかでも発熱等の症状がある方は、外出せず、すぐにかかりつけ医などに電話相談し、受診をお願いする。感染に不安を感じる無症状の方は、県の登録を受けた検査機関等において無料検査が受けられる（熊本県民に限る）ため、活用するようお願いする（令和3年12月28日に要請）。

前回（12/31発表）	今回（1/7発表）
レベル0 なお、感染状況は先週と大きな変化は見られない。	レベル1 なお、感染状況は拡大の兆しが見られる。

[熊本県リスクレベル]

【目的】感染者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は、本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

レベル	該当する状況	本県の基準		本県で想定する対策例
		病床基準※2	新規感染者基準※3	
レベル4 避けたい レベル	一般医療を大きく制限しても対応困難	80% (651人)	—	<ul style="list-style-type: none"> 国への災害医療的な対応依頼 積極的疫学調査の重点化 等
レベル3 対策強化 レベル	一般医療の制限が必要	40% (326人)	50人 (874人)	<ul style="list-style-type: none"> ワクチン・検査パッケージ制度適用の停止 【緊急事態措置】の対策 <ul style="list-style-type: none"> -飲食店等の人数制限要請※1、休業・時短要請 -イベントの人数制限要請※1 -県外移動は極力控える呼びかけ※1 等 【まん延防止等重点措置】の対策 <ul style="list-style-type: none"> -飲食店等の人数制限要請※1、時短要請 -イベントの人数制限要請※1 -県外移動は極力控える呼びかけ※1 等
レベル2 警戒強化 レベル	感染増加傾向が見られているが、病床数を増やすことで対応できている状態	15% (122人)	10人 (175人)	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店を起因として県内の感染が拡大する場合、認証店以外の飲食店の時短要請※4、国へのまん延防止等重点措置要請 国とまん延防止等重点措置要請の協議開始 感染状況に応じ、感染不安を感じる無症状者への検査受検要請を検討 飲食店等の人数制限要請※1 感染リスクが高い場所への外出・移動の自粛要請 感染リスクの高い行動回避の呼びかけ 段階的な病床の確保 等
レベル1 維持すべき レベル	一般医療が確保	—	1人 (17人)	<ul style="list-style-type: none"> 基本的感染防止対策徹底の要請 イベントの感染防止対策徹底等の要請 緊急事態宣言・まん延防止等重点措置地域への移動を控える呼びかけ※1 等
レベル0 感染ゼロ	新規感染者ゼロを維持	県内で継続的な感染が起こっていない状況		

(※1)ワクチン・検査パッケージ制度適用による緩和対象

(※2)最大確保病床使用率(12/28時点：814床に対する入院者数)

(※3)週の感染者数/人口10万人(本県人口換算)

(※4)自主的に時短に協力した認証店には協力金を支払う

(注1)病床基準と新規感染者基準を踏まえ、感染拡大傾向や他県の状況を鑑み、総合的にレベル判断を行う。

(注2)感染状況や、重症病床使用率、変異株の流行状況によっては、基準によらない判断を行うことがある。

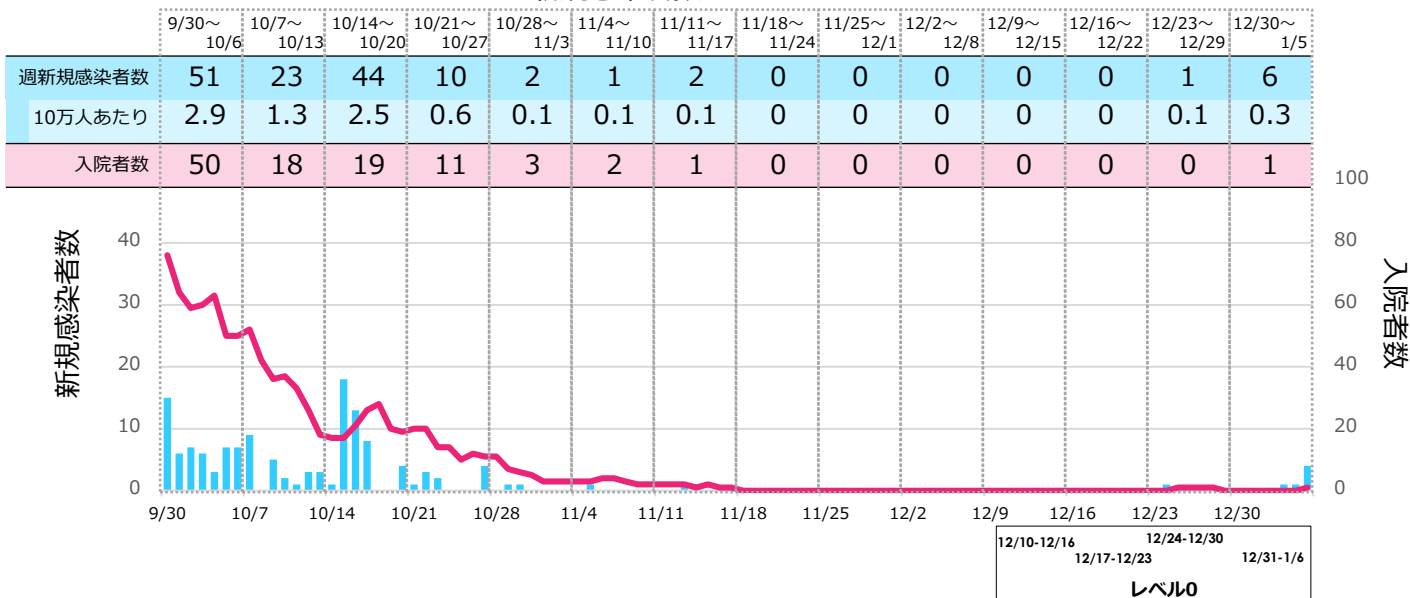
2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (1月6日現在)

- 全世界で感染が拡大しているが、特にヨーロッパや北米においてはオミクロン株を中心とした感染者の急増により、過去最多の感染者が確認されており、1日当たりの死亡者数も増加しつつある国もある。
- オミクロン株については、各国におけるデータの分析により、次のような性質が分かっている。
 - ・ 感染性は非常に高く、1つの指標(secondary attack rate※)はデルタ株の1.5倍から3倍程度と推定されている。
 - ・ ワクチン2回接種後5か月以上経過した場合、発症予防効果はデルタ株の1/6程度と推定されている。
 - ・ 入院率はデルタ株に比べ、1/3～1/2程度と推定されている。
- 上記のデータは今後の調査により更新されていくものであり、日本において同様の数値となるかは分からない。ただし、入院率が比較的低い可能性があることを差し引いても、感染性が非常に高いことから、デルタ株に比べてもリスクが高いと判断される。
- これまでにない速度で感染が拡大するおそれがあり、その場合、病床が逼迫する可能性もある。全国の様相からも、現時点で警戒感を強める必要があるため、リスクレベルはレベル1に引き上げることが妥当である。
- 年末年始で人の移動も多かったため、気付かないうちに感染している可能性も否定できない。基本的な感染防止対策を改めて徹底し、特に体調不良を感じる場合には、外出等をせず、受診することが重要と考えられる。
- 県・熊本市におかれては、第5波以降に整備された保健・医療提供体制について、経口薬（モルヌピラビル製剤）の活用も含め、円滑に稼働できるよう十分に備えていただくようお願いする。また、オミクロン株に対しても3回目のワクチン接種が有効であることが確認されているため、可能な限り迅速に進めていただきたい。

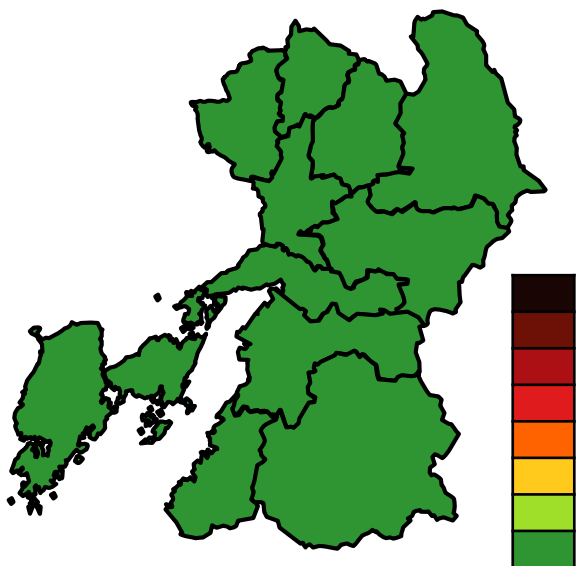
※…二次感染率。感染者と接触のあった感受性者の発症割合。

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（9/30～1/5）：公表日ベース】

■ 新規感染者数 ■ 入院者数



【保健所ごとの感染例の確認状況】



保健所名	12/30～1/5	
	新規感染者数	人口10万人*あたり
熊本市保健所	4	0.5
有明保健所	2	1.3
山鹿保健所	0	0.0
菊池保健所	0	0.0
阿蘇保健所	0	0.0
御船保健所	0	0.0
宇城保健所	0	0.0
八代保健所	0	0.0
水俣保健所	0	0.0
人吉保健所	0	0.0
天草保健所	0	0.0

* 各保健所管内の人口は平成31年4月1日のものを使用

【医療提供体制、感染状況に関する参考指標】

医療負荷の参考指標

感染状況の参考指標

時点	重症病床 使用率 (最大確保病床)	療養者数	入院率 ※1	重症者数	中等症者数	必要病床数予測※2			検査陽性率 ※3	感染経路 不明割合※4	新規感染者数 今週/前週比
						1週間後	2週間後	3週間後			
						1月5日	0%	4人			
12月29日	0%	0人	(0%)	0人	0人	0	0	0	0.04%	0%	-
12月22日	0%	0人	(0%)	0人	0人	0	0	0	0%	0%	0
12月15日	0%	0人	(0%)	0人	0人	0	0	0	0%	0%	0
12月8日	0%	0人	(0%)	0人	0人	0	0	0	0%	0%	0
12月1日	0%	0人	(0%)	0人	0人	-	-	-	0%	0%	0
11月24日	0%	0人	(0%)	0人	0人	-	-	-	0%	0%	0
11月17日	1.4%	2人	(50%)	1人	0人	-	-	-	0.08%	50.0%	2.00

※1 療養者数が人口10万人あたり10人以上（175人）の場合に適用

※2 新型コロナウイルスの感染拡大状況とワクチン接種状況に応じた医療需要の予測ツール（国立感染症研究所）の短期予測を用い、本県のデータを用い算出（感染が急激に増加する場合は、誤差が非常に大きくなるため、ツール制作者が認める範囲内でパラメータを調整する場合がある）

※3 新規感染者数（公表日ベース）及び県内の全検査数の1週間合計より算出

※4 12月10日公表リスクレベル資料より新規感染者数（公表日）、最大確保病床数による集計値を用いるため、12月1日以前のデータについて一部再集計を実施。感染経路不明割合については12月1日以前のデータは確定日ベースの集計に基づく

2 県民の皆様へのお願い（1月7日発表）

熊本県の状況は、**レベル1**です。
また、感染状況は拡大の兆しが見られます。

1 基本的な感染防止対策の徹底

- ① 症状がなくとも、マスク着用
- ② こまめな手洗い・手指消毒、換気
- ③ 発熱時は仕事等を休み、すぐにかかりつけ医等に電話相談！

- ・「新しい生活様式」の実践をお願いします。
- ・マスク着用、手洗い、換気、人と人との距離の確保等の感染防止対策を徹底してください。
- ・帰宅直後の手洗いや入浴、発熱等の症状がある同居者と部屋を分けるなど、家庭内における感染防止対策を徹底してください。
- ・厚生労働省がリリースした接触確認アプリの積極的な利用をお願いします。



©2010 熊本県 くまモン

2 症状がある方・不安な方は検査を受けて下さい

わずかでも発熱などの症状がある方

外出せず、すぐにかかりつけ医等の医療機関又は発熱者専用ダイヤルに電話相談し、受診して下さい。

症状のある方



症状はないが、感染に不安を感じる方

県の登録を受けた検査機関等において無料検査が受けられる（熊本県民に限る）ため、検査を受けて下さい（令和3年12月29日～令和4年1月31日）。

無症状だが不安な方



3 外出・移動について

【外出】 ・マスク着用等の感染防止対策を徹底し、「3つの密」のある場合は避けて下さい。

【移動】 ・発熱等の症状がある場合は、帰省や旅行等による移動を控えて下さい。
・県をまたぐ移動は、移動先の感染状況を確認し、緊急事態措置区域及びまん延防止等重点措置区域への不要不急の移動については、極力控えて下さい※。

※…ワクチン検査パッケージの適用を受けた者を除く。

4 会食はリスク大！特に注意しましょう

- ・会食は、宅飲みを含み、感染リスクを最小化するために、下記に留意して実施してください。

- ① 「会食時の感染リスクを下げる4つのステップ」を遵守して
- ② なるべく普段から一緒にいる人と
- ③ 人数を絞って

4つのステップ



- ・県内全域で、深夜遅くまでの飲酒や会合など、感染拡大につながる行動を控えてください。
- ・感染防止対策が講じられていない飲食店は、利用しないようお願いします。

熊本県作成 会食時の感染リスクを下げる4つのステップ

飲酒を伴う懇親会や大人気の飲食、長時間におよぶ飲食等は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まる場面に該当しますが、様々な工夫と一人一人の心がけて、感染リスクを下げることは可能です。
感染リスクを下げる4つのステップをみんなで見直しましょう！

STEP1 予約時に下げる！

- お店を予約する際に、感染防止対策を実施しているお店が確認しましょう。
➤ 感染防止対策を実施しているお店は、ステッカーの掲示等で確認できます。
- 他の団体との接触を減らすため、部屋を別にし、パーテーションや空間を分けるなどの対応が可能なお店と相談しましょう。
- 大人数（5人程度）での会食の場合は、テーブルを分ける、席の配置を斜め向かいにする、席と席の間にアクリル板を設置するなどの対応が可能なお店と相談しましょう。

STEP2 会食前に下げる！

- 発熱等の症状の有無を確認し、体調の悪い人は参加しないようにしましょう。
- 入店時に手指消毒を行い、マスクを着用しました、すぐに着席しましょう。

STEP3 会食中に下げる！

- 食事中でも、会話をする際はマスクをしましょう。
➤ 発熱等の症状や会話の距離を確保するなどの工夫が効果的です。
- 大声での会話や咳の移動は控えましょう。
- 箸やコップの使いまわしは避けましょう。
- 深酒は控えましょう。アルコールを飲みすぎずの人がいたら、ソフトドリンクを勧めましょう。
- 飲酒の距離で参加者の先方が高熱し、マスク無しで会話や大声での会話が行われるなど、感染防止対策が実施されない状況になったら、早めにお断りしましょう。

STEP4 会食後に下げる！

- はしご酒は控えましょう。
- 帰宅直後の手洗いや入浴により、家屋内にウイルスを持ち込まないようにしましょう。
- 万が一、発熱等の症状が出た場合は、かかりつけ医等に電話相談のうえ、医療機関を受診しましょう。また、幹事等に連絡し、参加者と情報共有しましょう。

5 飲食店事業者の皆様への要請

【感染対策】

県が示した業種別の「感染防止対策チェックリスト」、国が取りまとめている感染拡大予防ガイドラインにより、十分感染防止活動を行い、それが県民に分かるよう、ステッカー等を掲示して下さい。

【認証制度】

感染防止対策を徹底し、「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」をご活用ください



チェックリスト



認証制度



6 イベントの開催について

- ・県の「イベントの開催制限について」を参考とし、感染防止対策を徹底して下さい。
- ・参加人数は、下記の【人数上限】、【収容率】の**いずれか小さい方**に制限して下さい。
- ・感染防止安全計画を策定するイベント（対象：5,000人超かつ収容率50%超のイベントが対象）では、県に感染防止安全計画を提出してください。
- ・その他（感染防止安全計画を策定しない）のイベントでは、感染防止策チェックリストを作成し、主催者等のHP、SNSなどで公表してください。

イベント開催制限



	感染防止安全計画の策定あり	その他（感染防止安全計画を策定しない）
人数上限	収容定員まで	5,000人又は収容定員50%のいずれか大きい方
収容率	100%	大声なし：100%、大声あり：50%

※「大声」：通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること。「大声あり」：「大声」を積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントが該当
※ 詳細は熊本県HP「イベントの開催制限について」をご確認ください

事業者

- ・業種別ガイドラインの遵守を要請
- ・テレワーク・時差出勤等の取組みの協力依頼
- ・職場における感染防止のための取組み（手洗いや手指消毒、換気励行、テレビ会議の活用、昼休みの時差取得等）徹底の協力依頼

学校

- ・文部科学省の「衛生管理マニュアル」（※）に基づく感染防止対策の徹底
- ※…「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～」
文部科学省が、学校が取り組むべき具体的な感染症対策について示したマニュアル

保育所等

- ・保育所等における感染防止のための取組み（職員のマスク着用、手洗いや手指消毒、換気励行等）徹底の協力依頼
- ・保育室や通園バスなど密になりやすい場面での感染防止対策徹底の協力依頼

事業者の皆様へ

業種別ガイドラインにより感染防止対策を行う際には、マスク着用などの飛沫感染対策に加え、コンピューターや共用物品・設備などによる接触感染にご注意ください。

また、業種によらず従業員にわずかでも発熱等の症状がある場合、確実に仕事を休ませ、受診につなげる体制を構築することが非常に重要です。

県民の皆様へのメッセージ

残念ながら、感染者やその御家族、医療従事者の方々の中に、差別を受け、苦しんでいる方がおられます。新型コロナウイルス感染症には、誰もがどこでも感染する可能性があります。

感染された方やその御家族、職場関係の方々に責任はありません。不当な扱いや嫌がらせ、誹謗・中傷などは絶対にならないよう、お願いします。

全国の都市部において、オミクロン株を中心とした感染拡大が確認されており、熊本市においてもオミクロン株の感染者が確認されました。

年末年始の人の移動機会の増加に伴う、都市部から地方への感染の波及により、熊本市においても今後の感染者の増加が懸念されます。

オミクロン株にも基本的な感染防止対策が有効であることから、あらゆる場面で基本的な感染防止策の徹底など注意が必要です。

【対策】

- ・熊本市における取組は以下のとおりです。
 - ✓ワクチン接種の着実な実施
 - ✓第5波の課題を踏まえた療養体制等の強化
 - ✓小中学校・保育所・民間企業等への抗原キットの配布
 - ✓街中モニターを活用した感染予防策に関する広報啓発活動の実施
 - ✓保育所等への感染防止対策の相談・指導強化（現地確認等）
 - ✓県と連携し、入院患者受入病床や後方支援医療機関の更なる確保の継続的な実施
 - ✓新たな変異株に対応するための検査体制等の強化

【熊本市からの要請】

- ・熊本市から熊本市民の皆様への要請は次のとおりです。
 - ✓ **基本的な感染防止対策**を徹底してください
(手洗い・うがい・手指消毒・マスク着用)
 - ✓職場において、**業種別ガイドライン**等を参考に、**感染防止対策の徹底**を再度確認してください。また、**テレワーク**等に協力してください。
 - ✓**小中学校・保育所・民間企業等への抗原キットの配布**について、積極的に活用していただくようお願いいたします。
 - ✓**県をまたぐ移動**については、**移動先の感染状況**を踏まえて、**慎重に検討**していただくようお願いいたします。